

2026年5月22日

## サトウ食品 おいしさの原点 「白玉粉」終売

～お米のおいしさを伝えたい想いはこれからも～

サトウ食品株式会社（以下当社）は、創業時から販売を続けてきました「白玉粉 1 kg」を、近年の販売状況を考慮して 2026 年 6 月末に販売終了いたします。

当社は、1950（昭和 25）年「佐藤勘作商店」として創業し、白玉粉の製造・販売から事業をスタートしました。「お米（新潟米）のおいしさを伝えたい」、「おいしいものを多くのお客様にお届けしたい」という想いで、試行錯誤しながらさまざまな商品づくりを行い、現在の「サトウの切り餅」と「サトウのごはん」が誕生しました。その想いは今もなお引き継がれ、お客様が求める商品ニーズにお応えする商品づくりにつながっています。

当社の原点である白玉粉が 6 月末をもって販売終了となりますが、白玉粉製造時から受け継いできた商品づくりに対する姿勢を忘れずに、今後も安心安全なお餅とごはんをお客様にお届けできるよう、商品の安定供給に引き続き注力してまいります。長年にわたり当社の白玉粉をご愛顧賜りましたこと、心より御礼申し上げます。

### ■商品概要

商品名	白玉粉（製造委託）	
内容量	1 kg	
終売日	2026 年 6 月 30 日（火）	

以上

【本件に関するお問い合わせ】

サトウ食品株式会社 ブランディング戦略部 TEL 025-275-1100

# NEWS RELEASE

**サトウ食品株式会社**

新潟市東区宝町13番5号 〒950-8730

<https://www.satosyokuhin.co.jp/>

## ■佐藤功相談役会長 インタビュー

サトウ食品創業時や白玉粉製造を知る現会長の佐藤功にインタビューを行いました。佐藤会長しか語ることのできない当時のエピソードをご紹介します。

聞き手：創業から続く白玉粉の販売が6月末に終了することが決定しました。改めて、創業時のエピソードをお聞かせください。



佐藤会長：終戦後の1950（昭和25）年に、創業者である父（佐藤勘作）は「佐藤勘作商店」を立ち上げましたが、白玉粉の製造自体経験がなかったので、「ああでもない、こうでもない」と試行錯誤を繰り返していました。白玉粉を作るには石臼が必要で、当時中学1年生だった私は石臼を譲ってくれるという人のところまでリヤカーを引いて取りに行きました（距離にして片道約8キロ）。リヤカーがあるとはいえ、とっても重かったのを今でも覚えています。当時は、私の両親が朝から晩まで時間を惜しんで白玉粉を作っていました。戦後だったので、原料となるもち米の流通が少なく、とにかく大変な時代でしたね。



創業者・佐藤勘作氏



当時の白玉粉製造現場



当時の白玉粉

聞き手：白玉粉に続いて、白玉粉を加工した白玉餅（即席白玉）の販売も行っていました。なぜ、白玉餅（即席白玉）を発売したのでしょうか。

佐藤会長：白玉はおいしいのですが、白玉粉から白玉を作るのは意外と難しい。加える水が多いとドロドロしてしまうし、逆に少ないとボロボロになる。ちょうどよい柔らかさにこねるのに慣れていないと失敗することがよくありました。そこで、調理時間を短縮して白玉を楽しむ「即席白玉」として、「サトウの即席白玉」を発売しました。それは棒状になっていて、切ってさっと茹でればすぐに食べられるというもの。それから、利便性を追求して一口サイズにかたちを変えた「サトウの白玉ちびまる」を発売しました。白玉餅を自分で作らなくても便利ですぐ食べられるということで、女性や子どもを中心に人気の商品でした。



「サトウの即席白玉」



「サトウの白玉ちびまる」

# NEWS RELEASE

**サトウ食品株式会社**

新潟市東区宝町13番5号 〒950-8730

<https://www.satosyokuhin.co.jp/>

聞き手：白玉餅（即席白玉）は人気商品でしたが、その後、外部の会社に製造委託したと伺いました。なぜ、製造委託したのでしょうか。

佐藤会長：人気で売れていたといっても、白玉粉・白玉餅の市場規模は小さかったんです。また、その当時は「サトウの切り餅」が軌道に乗り、そこそこ売っていたので、餅製造に集中したかった。加えて、白玉粉・白玉餅を製造する場所も資金も少なかったため、当社での製造をやめてしまいました。その後は、ご縁のあった新潟県内の会社に製造をお願いして、販売のみ続けていました。

聞き手：お話を伺わせていただき、ありがとうございました。最後に、これからのサトウ食品に期待することは何でしょうか。



佐藤会長：「佐藤勘作商店」として創業し、今年4月で76周年を迎えました。これまで関わってくださった方のご縁・ご支援のおかげで、数々の困難を乗り越えることができました。当社創業の礎である白玉粉は無くなりますが、「おいしいものを多くのお客様にお届けしたい」という想いが変わることはありませんでした。この“サトウイズム”を忘れずに、お客様が求める商品づくりにさらなる努力を重ね、進化し続けることを期待したいです。

## ■ 白玉粉・白玉餅（即席白玉）商品 ※現在は販売終了

サトウの白玉粉	サトウの即席白玉	サトウの白玉ちびまる
		

## ■ 「サトウの切り餅」「サトウのごはん」誕生までの歩み ※一部抜粋

1950（昭和25）年	「佐藤勘作商店」として創業、白玉粉の製造・販売を開始
1964（昭和39）年	レトルト包装餅の製造・販売開始
1965（昭和40）年	板餅の製造・販売開始
1973（昭和48）年	「サトウの切り餅」（3連パック）の製造・販売を開始
1980（昭和55）年	「サトウの切り餅つきたてバラ入り」の製造・販売を開始
1983（昭和58）年	「サトウの切り餅つきたてシングルパック」の製造・販売を開始
1988（昭和63）年	「サトウのごはん」の製造・販売開始